

—— 地域活性化・定住対策

総合戦略の中では、世代間交流支援、Uターン者支援、人と仕事のマッチング支援など、幅広い役割を担う組織として「まち・ひと・しごとセンター」の設置を計画しています。

当面、この機能は、役場地域振興課が担うこととしていますが、将来的にはセンターを設置し、住民・民間企業・行政などが連携して支援、運営する体制の整備を進めます。

また、このため、昨年からスタートした「奥出雲仕事塾」をさらに拡充した人材育成事業や、求人・求職のマッチングのための体制づくりなどを強化します。

その他、地域住民が自主的な活動を行う各種団体などを支援する「住民提案型さらり輝く地域づくり事業」を継続するとともに、NPOなどの活動支援により、尾原ダムさくらおろち湖の周辺地域活性化策を推進します。

次に、定住対策についてです。地域おこし協力隊による定住相談員の増員、東京などで開催されるUターンフェアへの参加、暮ら



普及拡大が進む有機エゴマ栽培

その他、町の在来種である横田小ソバなどの栽培普及を図るため、乾燥調整および検査手数料などの助成などを継続実施するほか、「奥出雲しいたけ」については、地域雇用を確保するため、農家への生産支援を継続します。

なお、有害鳥獣対策については、引き続き、有害鳥獣の捕獲駆除対策や電気防護柵の設置など、農作物の被害防止対策に努めます。

次に、林業の振興についてです。引き続き、町行分収造林などを推進するとともに、荒廃林の再生整備および森林病害虫対策を実施し、「森林資源を生かした循環型社会」の実現を目指します。

しを体験するプログラムへの助成を引き続き実施し、Uターン者の受け入れを、積極的に進めます。

また、住宅の確保策である空き家バンク事業を継続実施するとともに、Uターンに伴う住宅改修費を助成する「親元へ住もう補助金」などの住宅改修費助成事業の情報を一体的に提供できるよう努めます。

その他、鳥根県住宅供給公社の単身定住住宅を購入し、Uターン者向けの世帯用住宅として改修・整備することで、住宅の確保と定住対策を進めます。



東京での地域おこしフェアの様子

また、森林施業の効率化による林業の活性化を図るため、森林作業道の整備などについても、積極的に取り組みます。

その他、山林地籍調査事業については、適正な事務処理に努め、継続的な事業の推進に努めることとしています。

—— 観光振興

県内では、松江城の国宝指定などにより、引き続き多くの観光客が来訪しており、本町でもこれを誘客の好機と捉えた、新たな対策が必要と考えています。

来年度は、総合戦略の「歴史・文化・自然を活かした観光振興」を円滑に実行していくため、観光文化協会の組織を見直し、専属のスタッフを配置することとしました。

なお、事務所も観光客の利便性を考慮した結果、観光案内所を兼ねた運営が可能なサイクリングターミナルへ設置することとし、さらなる観光振興を図ります。

また、道の駅「奥出雲おろちろ」は、現在、県により便所棟を整備いただいています。町でも来年度、売店などの大規模改修

—— 産業振興

今年2月に行われた環太平洋連携協定(TPP)の参加12カ国の協定署名によって、今後、日本の農業はこれまで経験したことのない、大きな転換期を迎えようとしています。

引き続き、農業生産法人などの組織化、「人・農地プラン」の策定や農地集積交付金の活用を推進するとともに、中山間地域等直接支払交付金事業などの円滑な実施に努める考えです。

次に、水稲生産調整についてです。本町の平成28年度の主食用米水稲配分面積は、県内での地域間調整に努めた結果、昨年の作付け実績並みとなる、約1390haが確保できる見込みとなっています。

今後も、仁多米生産量の安定確保のため、さらなる追加配分の確保に努めます。

また、先日開催した第8回仁多米振興大会のテーマ、「産地の活性化と全国ブランド仁多米の更なる飛躍に向けて」を実現するため、関係機関・生産者と連携し、引き続き、品質の確保や食味値の

向上に取り組みます。

次に、畜産振興についてです。平成29年に宮城県で開催予定の第11回全国和牛能力共進会まで残り1年半となりましたが、関係機関と連携し、町代表全共候補牛の選抜や飼養管理体制の支援強化など、全共出品対策の取組みを進めます。

また、引き続き、優良基礎雌牛の保留・導入による増頭対策、育種改良や指定交配などの体制整備を図る他、鳥上の横田第2繁殖育成センターやJA雲南キャトルステーションの活用促進などを推進します。

次に、国営開発農地、水田転作などについてです。本町では国営開発農地を中心に、地元参入企業と生産農家の契約栽培による有機エゴマの普及拡大に取り組んでおりませんが、今年度、栽培面積が日本一となったところです。

来年度は35haの栽培を計画しており、作付奨励支援事業の継続と、参入企業と連携した6次産業化に向けての支援を行います。

また、来年度から水田転作によるエゴマ栽培農家に対して、地域振興作物助成金を10万当たり2万円交付することとしています。

りました。

引き続き「企業誘致促進事業」を実施する他、町内企業の創業や起業の支援を行う「産業創出事業」を創設し、民間活力による新たな産業の創出と雇用の場の確保、拡大に努めます。

また、来年度も、商工会による経営改善普及事業や、移動販売車などの費用を一部支援する地域商業活性化支援事業を継続する他、飲食店などの活性化を図るため、「奥出雲バル」も計画しています。

その他、かねてから要望されてきました横田市街地の街路灯整備についても、予算計上したところで、商業振興の一助になればと考えています。

次の内容は、4月号に掲載予定です。

- ・ 少子化対策・子育て支援
- ・ 医療、福祉等
- ・ 国民健康保険事業
- ・ 教育の充実
- ・ スポーツ・文化振興
- ・ 新エネルギー施策
- ・ 消防・防災対策等
- ・ 行政改革



来年度公開が予定されている映画「たたら侍」

—— 商工業振興

今年度から、企業の合宿誘致を推進していますが、これまでのところ、モニターツアーにIT企業4社、16名が参加された他、助成事業を利用された企業も2社とな